

令和 2 年度

# 事業報告書

自 令和 2 年 4 月 1 日

至 令和 3 年 3 月 31 日

一般社団法人日本非破壊検査工業会

## 1. 概要

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、各国で甚大な経済活動の停滞が生じた。感染者数は世界で1億3000万人を超え、感染予防のためにワクチン接種が開始されたが、新たな変異ウイルスが確認されるなど、いまなお感染者数の増加に歯止めがかからず予断を許さない状況が継続している。

わが国においても、感染症の拡大に伴い、インバウンド需要の減少や生産活動の停滞に伴うサプライチェーンを通じた供給制約による生産の滞りが生じた。また、感染拡大防止のために緊急事態宣言が発出され、社会・経済活動の抑制を余儀なくされた。感染症は、輸出の大幅減少、個人消費の落ち込みなどを誘発し、石油・ガス、鉄鋼、自動車など、わが国経済に甚大な影響をもたらした。一方、テレワークの拡大・定着や消費のネットシフトなど、デジタル化を背景に情報関連は底堅く推移した。

こうした情勢の中、当工業会でも感染症拡大防止を図りつつ、非破壊検査の普及と振興を通じて、その社会的な地位と信頼性を高めるとともに、非破壊検査業並びに非破壊検査機器及び材料などの製造・販売業の健全な発展に寄与する活動を進めた。「非破壊検査技術の高度化に関する調査・研究・開発」及び「非破壊検査の普及・啓発などに関する施策」を引き続き推進したほか、主要事業である「非破壊検査に関する講習会、セミナーなど」や「非破壊検査に係る技術者資格認証」の事業の推進、老朽化した産業設備や社会インフラの維持管理に資する非破壊検査の活用などの市場創出に向けた施策を推進した。

今年度実施した主な事業活動と成果を次に示す。

### 1) 非破壊検査技術の高度化に関する調査・研究・開発の推進

危険物施設の腐食・劣化を原因とした事故防止を目的に、新技術の活用を含めた点検・維持管理について「危険物施設の長期使用に係る調査検討会」に参画し検討した。また、石油タンク底板へのフェーズドアレイ超音波探傷法の適用課題に対して、シミュレーションと実験によって解決を図る「コーティング上からの溶接線検査に係る検討会」や、石油プラントへの「新技術を活用した危険物施設の保安設備等に関する研究会」に参画し、定修における非破壊検査新技術の研究を推進した。

### 2) 非破壊検査の普及・啓発に関する施策の推進

「非破壊検査業界の景気動向調査」や「経営実態調査」を実施するとともに、「新型コロナウイルス感染症に関する非破壊検査業界への影響に関するアンケート」及び「エックス線装置使用に関する調査」を実施し、非破壊検査の普及・啓発を実施した。また、配筋探査やインフラ調査士技術者への情報発信として「インフラ調査士だより」を発行し、非破壊検査技術の普及を図った。

国が推進する働き方改革に対する業界対応として、石油化学プラントの定修環境整備のために石油化学工業協会や日本メンテナンス工業会などと「第1回定修会議」に参画した。

i-Constructionへの対応として「ドローン測量教育研究機構(DSERO)」との連携の模索に着手するとともに、産学連携の主旨に賛同して「ものづくり大学教育研究推進連絡協議会」に入会し、非破壊検査のプレゼンス向上を図った。

配筋探査技術者及びインフラ調査士の活用などの要望・提言を、大阪府、兵庫県及び福岡県

選出議員団に対して実施した。

当工業会が経済産業省から指定を受け、「生産性向上特別措置法の先端設備等に係る生産性向上要件証明書」を合計 189 件発行し、先端設備投資の促進を図った。

### 3) 非破壊検査に関する講習会、セミナーの推進

#### (1) コンクリート構造物の配筋探査講習会

配筋探査技術者資格認証の学科（一次）試験のための講習会を東京、大阪及び北九州で 10 月に開催し、123 名に対して座学教育を実施した。実技講習会は、153 名に対して配筋探査の実技要点を講習した。また、建築分野に関しては JASS 5 T-608 講習会を東京、大阪で 10 月に 43 名に対して実施した。

#### (2) インフラ調査士講習会

国土交通省の登録資格であるインフラ調査士学科（一次）試験のためのインフラ調査士講習会を 10 月に開催し、社会インフラ施設を点検する 37 名の担当技術者の能力向上を図った。

#### (3) インフラ調査士補初級講習会

岡山県立岡山工業高校、津山工業高校、笠岡工業高校の 2 年生を対象にインフラ調査士補初級講習会を 2 月にリモートで開催し、合計 114 名の工業高校生のインフラ点検への参画に貢献した。

#### (4) JIS Z 2305 受験対策講習会

非破壊検査技術者に対して JIS Z 2305 受験対策講習会を東京及び大阪で、秋期及び春期に 4 回開催するとともに、e ラーニングによる技術者教育の準備に着手した。

#### (5) NDT 塾

非破壊検査技術（RT、UT、MT、PT、TT）の基礎的知識や最新技術情報の習得、適用技術の能力向上及び技術者交流による技術深化を目的にして、第 2 回 NDT 塾をリモートで開催し、全国の 43 名の中堅技術者の育成を図った。

### 4) 非破壊検査に係る技術者資格認証の実施及び普及

#### (1) コンクリート構造物の配筋探査技術者資格認証事業

配筋探査技術者（土木）及び（建築）の資格試験を、8 月から順次、東京、大阪及び北九州で実施し、資格者の技量の維持向上に努めた。令和 2 年 10 月 1 日時点で、配筋探査技術者（土木）は 2,027 名、同（建築）618 名となった。

#### (2) インフラ調査士資格認証事業

国土交通省の登録資格であるインフラ調査士の資格認証試験を 1 回実施し、登録者数は 1,911 名となった。また、インフラ調査士更新試験を e ラーニングで年 2 回実施し、601 名が更新した。

### 5) 関係機関・団体との連携強化

経済産業省、国土交通省などの官公庁、及び非破壊検査に関連する日本非破壊検査協会、日本溶接協会、全国危険物安全協会、日本エルピーガスプラント協会、放射線障害防止中央協議会などと連携強化を図り、非破壊検査技術の普及及び非破壊検査業界の発展に係る活動を推進した。

## 2. 主な事業

### 2.1 認証事業

#### 1) 認証部会

##### (1) 事業報告

上部構造・下部構造やボックスガルバート、及び建築構造物のコンクリート中の配筋状態及びかぶり測定に必要となる「配筋探査技術者認証」と、道路施設の定期点検を実施する担当技術者が必要となる「インフラ調査士資格認証」を継続して実施している。

配筋探査技術者は、資格付与後10年が経過して再認証試験が開始されており、累計2,027名（2020年10月現在）となっている。配筋探査技術者認証実技試験では、2021年度から受験者による装置持込み受験を開始する。

一方、インフラ調査士は、鋼橋494名、コンクリート橋477名、トンネル434名、付帯施設506名、合計1,911名（2020年10月1日現在）となった。国土交通省は、地方公共団体に対してインフラ調査士などの国土交通省登録技術者の活用を働きかけており、今後益々資格者の活用が図られることが期待できる。また、インフラ調査士の裾野拡大のため、学生を対象としたインフラ調査士補資格創設に向けて、インフラ調査士補試験委員会を立ち上げ、制度の検討をした。

資格認証制度に関する課題について検討を継続しており、それらに伴う規格改正を8件実施した。

##### (2) 部会・委員会

| 部会・委員会名         | 回数 | 実施日                |
|-----------------|----|--------------------|
| 認証部会            | 1  | 3/24               |
| 認証運営委員会         | 2  | 9/23、3/24          |
| 諮問委員会           | 1  | 8/19               |
| 内部監査委員会         | 2  | 7/21、3/25          |
| 査定委員会           | 4  | 5/27、9/8、12/11、3/5 |
| 配筋探査試験委員会       | 2  | 9/4、3/3            |
| 配筋探査問題管理委員会     | 1  | 3/8                |
| インフラ調査士試験委員会    | 1  | 12/1               |
| インフラ調査士問題管理委員会  | 1  | 4/16（書面審議）         |
| 共通問題管理小委員会      | 2  | 8/25、3/16          |
| 鋼橋問題管理小委員会      | 1  | 2/2                |
| コンクリート橋問題管理小委員会 | 2  | 12/23、12/24        |
| トンネル問題管理小委員会    | 2  | 11/4、2/3           |
| 付帯施設問題管理小委員会    | 1  | 1/20               |
| インフラ調査士補試験委員会   | 2  | 11/9、1/19          |

## (3) 資格試験

| 資格試験名称 (略称)             | 種別         | 区分       | 実施日          | 受験者 | 欠席者 | 合格者 |
|-------------------------|------------|----------|--------------|-----|-----|-----|
| 2020年度前期配筋探査 (土木)       | 学科         | 新規       | 5/27<br>(中止) | -   | -   | -   |
| 2020年度前期配筋探査 (建築)       | 学科         | 経過<br>処置 | 5/27<br>(中止) | -   | -   | -   |
| 2020年度前期配筋探査 (土木)       | 実技         | 新規       | 8月           | 47  | 10  | 29  |
| 2020年度前期配筋探査 (土木)       | 実技         | 再認証      | 8月           | 101 | 8   | 60  |
| 2020年度後期配筋探査 (土木)       | 学科         | 新規       | 12/2         | 159 | 8   | 108 |
| 2020年度後期配筋探査 (建築)       | 学科         | 経過<br>処置 | 12/2         | 4   | 0   | 3   |
| 2020年度後期配筋探査 (土木)       | 実技         | 新規       | 2月           | 117 | 1   | 66  |
| 2020年度後期配筋探査 (土木)       | 実技         | 再認証      | 2月           | 77  | 7   | 49  |
| 2020年度前期インフラ調査士         | 学科         | 新規       | 5/14<br>(中止) | -   | -   | -   |
| 2020年度前期インフラ調査士         | 実務         | 新規       | 7/16         | 19  | 0   | 11  |
| 2020年度後期インフラ調査士         | 学科         | 新規       | 11/18        | 139 | 6   | 106 |
| 2020年度後期インフラ調査士         | 実務         | 新規       | 2/8、2/9      | 115 | 1   | 85  |
| 2020年度前期インフラ調査士<br>更新試験 | eラーニ<br>ング | 更新       | 4月<br>～5月    | 95  | 0   | 95  |
| 2020年度後期インフラ調査士<br>更新試験 | eラーニ<br>ング | 更新       | 10月<br>～11月  | 296 | 0   | 296 |

配筋探査：検規 6501-2020「コンクリート構造物の配筋探査技術者認証基準」による認証試験

インフラ調査士：検規 6001-2020「インフラ調査士技術者認証基準」による認証試験

## (4) 検規・規則類の制定及び改正

| 検規番号 | 名称   | 制定・改正      | 区分 |
|------|--|------------|----|
| 6020 | インフラ調査士試験委員会規則                                   | 2020/10/29 | 改正 |
| 6030 | インフラ調査士査定委員会規則                                   | 2020/10/29 | 改正 |
| 6501 | コンクリート構造物の配筋探査技術者認証規準                            | 2020/10/29 | 改正 |
| 6541 | 資格認証従事者倫理規則                                      | 2020/10/29 | 改正 |
| 6570 | 学科試験・実技試験実施手順                                    | 2020/10/29 | 改正 |
| 6572 | 査定実施手順   | 2020/10/29 | 改正 |
| 6577 | 探査装置管理規準   | 2020/10/29 | 改正 |
| 6580 | コンクリート構造物の配筋探査技術者講習会及び資格認証<br>試験に使用する装置の採用規準(内規) | 2020/10/29 | 改正 |

## 2.2 教育事業

### 1) 教育部会

#### (1) 事業報告

「配筋探査技術者」、「インフラ調査士」資格取得のための教育講習を継続して実施している。「インフラ調査士」を若い世代にも浸透させるため、2018年度から工業高校生向けの「インフラ調査士補講習会」を開催しており、従来の高校3年生の講習に加え、高校2年生を対象とした初級講習会を実施した。また昨年度から開始した「インフラ調査士」の更新者向けの講習をeラーニングにて継続して実施した。講習会受講者の移動による負担軽減を目的とし、2021年度から配筋探査講習会及びインフラ調査士講習会を集合型からZoomによるリアルタイム講習に切り替えるための検討をした。新規事業として、JIS Z 2305 資格取得のための学科試験対策講習をeラーニングにて実施する計画をし、コンテンツ作成に着手した。

#### (2) 部会・委員会

| 部会・委員会名                | 回数 | 実施日            |
|------------------------|----|----------------|
| 教育部会                   | 3  | 6/20、7/21、2/18 |
| インフラ調査士講習会委員会          | 1  | 12/15          |
| JIS Z 2305 教育講習 WG UT2 | 2  | 9/29、12/9      |

#### (3) 各種講習会

| 講習会名称（略称）         | 種別        | 地区            | 実施日              | 申込者 | 受講者 | 欠席者 |
|-------------------|-----------|---------------|------------------|-----|-----|-----|
| 第13回配筋探査          | 座学        | 東京・大阪・北九州・北海道 | 4月<br>(中止)       | —   | —   | —   |
| 第22回 JASS5 T-608  | 座学<br>・実技 | 東京・大阪         | 4月<br>(中止)       | —   | —   | —   |
| 2020年度前期配筋探査実技    | 実技        | 東京・大阪・北九州     | 7月、8月            | 52  | 46  | 6   |
| 第12回インフラ調査士       | 座学        | 東京            | 4/9、4/10<br>(中止) | —   | —   | —   |
| 2020年度前期インフラ調査士更新 | eラーニング    | —             | 3月<br>～5月        | 95  | 95  | 0   |
| 第14回配筋探査          | 座学        | 東京・大阪・北九州     | 10月              | 125 | 123 | 2   |
| 第23回 JASS5 T-608  | 座学・実技     | 東京・大阪         | 10月              | 44  | 43  | 1   |
| 2020年度後期配筋探査実技    | 実技        | 東京・大阪・北九州     | 1月、2月            | 107 | 107 | 0   |
| 第13回インフラ調査士       | 座学        | 東京            | 10/1             | 39  | 37  | 2   |
| 2020年度後期インフラ調査士更新 | eラーニング    | —             | 9月<br>～11月       | 296 | 296 | 0   |

## 2.3 部会、委員会活動

### 1) 総務部会

#### (1) 事業報告

国の定める方針に基づき、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を策定し、工業会主催の行事に関わる活動に徹底するとともに、政府方針変更の都度、会員企業へ周知した。

委員会の統廃合により工業会運営組織のスリム化を図るとともに、会員種別の在り方や会員へのサービス向上に関する事項等の検討に着手した。

国が推進する働き方改革に対する業界対応として、石油化学プラントの定修環境整備のために石油化学工業協会や日本メンテナンス工業会などと第1回定修会議に参画した。

配筋探査技術者及びインフラ調査士の資格者の活用について、ブロック塀の点検や国土交通省登録資格者の現場配置等を、大阪府、兵庫県及び福岡県選出議員団に政策要望した。

i-Constructionへの対応としてドローン測量教育研究機構(DSERO)との連携の模索に着手するとともに、産学連携の主旨に賛同してものづくり大学教育研究推進連絡協議会に入会し、非破壊検査のプレゼンス向上を図った。

#### (2) 部会・委員会

| 部会・委員会名     | 回数 | 実施日                                       |
|-------------|----|---|
| 定時総会        | 1  | 5/12                                      |
| 理事会         | 8  | 4/21、5/12、7/20、8/20、10/13、10/29、1/13、3/25 |
| 総務部会        | 4  | 4/10、7/30、12/17、2/25                      |
| 改革委員会       | 1  | 11/20                                     |
| 支部長意見交換会    | 2  | 12/17、3/16                                |
| 50周年記念実行委員会 | 3  | 10/19、12/24、3/16                          |
| 50年史編集委員会   | 5  | 9/16、10/30、11/27、12/23、2/15               |
| 記念事業委員会     | 2  | 10/12、12/14                               |

### 2) 技術部会

#### (1) 事業報告

技術部会では、非破壊検査業界の抱える技術的課題に対して、会員会社の技術発表やアドバイザー(大学・研究機関)の講演・助言を通して、非破壊検査技術に対する知見を深め、現状埋もれているシーズの掘起しや非破壊検査技術の向上に努めるよう以下の実施事項を行った。

経済産業省、国土交通省などの官公庁からの依頼業務については、必要に応じてWGを作り、積極的に取り込んだ。

また、公的機関などの研修会などへの指導員・講師の派遣、Webサイトなどによる外部からの質問・問合せに対する指導・助言をし、非破壊検査業界の発展に係る活動を推進した。

この他、標準積算資料の充実を目的に、広報部会の標準積算資料検討委員会と連携して、標準積算資料に記載のある検査手法について、未だ標準手順書のないものを、参考資料として順次作成した。

## (2) 実施事項

### ① 開発委員会

a) 技術奨励賞の選定。

b) 総務省消防庁関連委員会への参加

消防庁の要請を受けて、次の委員会に委員を派遣。

- ・「危険物施設の長期使用に係る調査検討会」

危険物施設数が減少傾向であるにも関わらず、腐食・劣化などを原因とした事故件数（火災・流出）が近年増加しており、新技術の活用を含めた点検・維持管理の検討が行われた。

c) 危険物保安技術協会への参加

危険物保安技術協会の要請を受けて、次の2件の委員会に委員を派遣。

- ・「新技術を活用した危険物施設の保安設備等に関する研究会」
- ・「コーティング上からの溶接線検査に係る検討委員会」

これまでの委員会でフェーズドアレイ超音波探傷法における検出性の課題が抽出され、シミュレーションと実験を実施し、課題の解決に向けて検討している。

d) 新都市社会技術融合創造研究会

土木学会において、昨年度完了した「鋼床版の疲労耐久性向上に関する研究プロジェクト」の研究成果報告を実施した。

### ② 標準化委員会

広報部会の標準積算資料検討委員会と連携して、以下の標準手順書を作成した。

- ・鉄筋探査試験（電磁波レーダ法）手順書
- ・鉄筋探査試験（電磁誘導法）手順書

### ③ 技術討論会

令和2年9月17日に技術討論会を開催する予定であったが、新型コロナウイルスの収束時期が不確実な状況下、年度内の開催を中止することとした。尚、同じ委員により令和3年9月16日、川崎市産業振興会館において「日本非破壊検査工業会50周年記念第17回技術討論会」を開催する予定で計画をすすめている。

### ④ 非破壊検査技術の向上と普及

a) JIS Z 2305 資格試験 参考問題の作成・公開（Webサイト掲載）

- ・レベル2 一次試験5種目（UT、MT、PT、ET、ST）の参考問題
- ・レベル3 二次試験4種目（RT、UT、MT、PT）の参考問題

b) 技術講習会の開催（JIS Z 2305 資格試験レベル2 一次試験対策）の地域開催の支援・協力

### ⑤ 技術支援・交流

a) コンクリート配筋探査講習会の支援・協力

- ・配筋探査講習会
- ・配筋探査実技講習会
- ・JASS 5 T-608 講習会

b) インフラ調査士講習会の支援・協力

c) 官公庁、関連団体への技術支援および連携

- ・研修・講習会への講師派遣

(3) 部会・委員会・WG

| 部会・委員会名           | 回数 | 実施日              |
|-------------------|----|------------------|
| 技術部会              | 3  | 6/17、10/22、2/12  |
| 開発委員会             | 3  | 7/29、12/18、3/26  |
| 標準化委員会            | 3  | 10/22、12/18、2/12 |
| 技術討論会実行委員会（準備委員会） | 2  | 6/1、9/24         |

(4) 講習会支援

| 関連団体      | 内容                     | 年月             |
|-----------|------------------------|----------------|
| 労働大学校     | 労働行政職員の養成研修（検査業務専門Ⅱ研修） | 1月<br>(WEB 配信) |
| 危険物保安技術協会 | コーティング上からのタンク底部板厚測定講習会 | 2月、3月          |

(5) 関連団体支援

| 関連団体      | 内容                          | 年月   |
|-----------|-----------------------------|------|
| 消防庁       | 危険物施設の長期使用に係る調査検討会          | 委員派遣 |
| 危険物保安技術協会 | 新技術を活用した危険物施設の保安設備等に関する研究会  | 委員派遣 |
| 危険物保安技術協会 | 超音波探傷法による溶接線検査装置の実用化に向けた検討会 | 委員派遣 |

3) 広報部会

(1) 事業報告

- ① 非破壊検査の発展・普及及び非破壊検査業の経営課題や経営基盤強化に関する具体的施策として、実施した主なものは以下の通りである。但し、令和2年度はコロナウイルスの影響により経営交流会は全支部で中止となった。
  - a) 非破壊検査業界の景気動向調査や経営実態調査等を実施し、調査集計結果等を工業会会報、非破壊検査業界の経営実態に関する調査集計報告書等で、会員企業にフィードバックを図った。
  - b) 「新型コロナウイルス感染症に関する非破壊検査業界への影響に関するアンケート」を実施し、工業会会報及び代表者メールにてフィードバックを図った。
- ② 非破壊検査に関する調査・統計・資料収集と普及活動として、標準積算資料第11版を発刊した。

(2) 部会・委員会

| 部会・委員会名     | 回数 | 実施日                |
|-------------|----|--------------------|
| 広報部会        | 3  | 6/16、9/18、1/21     |
| 展示会委員会      | 4  | 7/14、9/8、11/19、2/2 |
| 標準積算資料検討委員会 | 2  | 12/24、3/10         |

### (3) 出版

| 出版物名称           | 回数 | 発行月         | 発行部数/回 |
|-----------------|----|-------------|--------|
| 工業会会報           | 4  | 6月、9月、1月、3月 | 1,250  |
| 工業会案内           | 1  | 10月         | 1,200  |
| 経営実態に関する調査集計報告書 | 1  | 3月          | 350    |

### 4) 安全部会

#### (1) 事業報告

労働安全衛生管理と環境改善等に関する施策の立案とその推進を図った。また、放射線障害防止法に係る非破壊検査の安全管理の施策の企画立案と啓発・普及活動と無災害労働時間の調査と表彰、安全衛生標語募集とポスターの発行などの活動により、安全に対する意識高揚を推進した。また、2020年版「安全手帳」を改訂し、発行した。

放射性同位元素等安全管理委員会は、放射性同位元素取扱事業者の放射線取扱主任者で構成され、原子力規制庁の業界団体窓口として、省庁の指導を受けて法改正や諸届出要領の周知を図るとともに、省庁への意見・要望を行った。先般の改正法令に関する審査ガイド策定に向けて、原子力規制庁等監督官庁から意見聴取の要請に対して対応した。

(公財)放射線影響協会放射線従事者中央登録センターから放射線管理手帳発効機関として認定を受けて4発行事業所(関東、関西、中国、九州)で237件の放射線管理手帳の発行を行うとともに登録事業者への指導・助言を行った。

#### (2) 部会・委員会

| 部会・委員会名             | 回数 | 実施日                               |
|---------------------|----|-----------------------------------|
| 安全部会                | 2  | 7/10(WEB会議)、11/6(WEB会議)           |
| 放射性同位元素等安全管理委員会 委員会 | 1  | 11/20(対面+WEB会議)                   |
| 放射性同位元素等安全管理委員会 大会  | 1  | 11/20(対面+WEB会議)                   |
| 上記委員会 監督官庁等からの要請会議  | 2  | 審査ガイドの整備に関する意見聴取:7/7、12/17(WEB会議) |
| 放射線管理手帳発効機関連絡会議     | 1  | 11/11(WEB会議)                      |

### 3. 支部活動

#### 3.1 東日本支部

##### 1) 支部事業

| 幹事会・大会・例会・見学会   | 回数 | 実施日  |
|-----------------|----|--|
| 幹事会             | 4  | 5/13(中止)、8/7(中止)、10/20<br>12/8、1/26(対面+WEB会議)、<br>3/23(対面+WEB会議) |
| 定期大会、経営交流会・年末例会 | 0  | 6/20(中止)、12/8(中止)  |
| 工場見学            | 0  | 11/8(中止)   |

2) 各種委員会

| 委員会   | 回数 | 実施日  |
|-------|----|--|
| 広報委員会 | 1  | 2/2(展示会と併催)  |
| 安全委員会 | 1  | 10/15  |
| 技術委員会 | 4  | 4/16(書面)、6/3(書面)、<br>8/18(対面+WEB 会議)、<br>10/6(対面+WEB 会議) |
| 教育委員会 | 4  | 同上にて共催   |

3) JIS Z 2305 資格試験のための講習会

| 講習会                 | 回数 | 実施日                     |
|---------------------|----|-------------------------|
| 秋期資格試験レベル2 一次試験対策講習 | 1  | 8/29-8/30、9/5-9/6 (20名) |
| 春期資格試験レベル2 一次試験対策講習 | 1  | 2/27-2/28、3/6-3/7 (25名) |

4) 本部事業

| 事業名称 (略称)        | 種別    | 実施日                 |
|------------------|-------|---------------------|
| 配筋探査技術者認証試験      | 学科    | 5/27 (中止)、12/2      |
|                  | 実技    | 8/27~8/28、2/24~2/25 |
| 配筋探査講習会          | 座学    | 4/28 (中止)、10/28     |
| 配筋探査実技講習会        | 実技    | 7/8~7/9、1/18~1/20   |
| インフラ調査士講習会       | 座学    | 4/9~4/10 (中止)、10/1  |
| インフラ調査士試験 (一次)   | 学科    | 5/14 (中止) 11/18     |
| インフラ調査士試験 (二次)   | 実務    | 7/16、2/8~2/9        |
| JASS 5 T-608 講習会 | 座学・実技 | 4/23~4/24 (中止)、     |

3.2 関西支部

1) 支部事業

| 幹事会・大会・例会・見学会    | 回数 | 実施日                       |
|------------------|----|---------------------------|
| 幹事会              | 5  | 4/25、7/18、10/24、12/5、3/16 |
| 定期大会、経営交流会、賀詞交歓会 | 0  | (中止)                      |
| 秋季合同例会           | 0  | (中止)                      |

2) 各種委員会

| 委員会   | 回数 | 実施日       |
|-------|----|-----------|
| 広報委員会 | 3  | 8月、12月、3月 |
| 安全委員会 | 2  | 10月、2月    |
| 技術委員会 | 3  | 7月、11月、3月 |
| 教育委員会 | 2  | 7月、2月     |

3) JIS Z 2305 資格試験のための講習会

| 講習会                   | 回数 | 実施日        |
|-----------------------|----|------------|
| 資格試験レベル2 一次試験対策講習会    | 2  | 8/29, 2/27 |
| JSNDI (UT-2) 再認証実技講習会 | 0  | (中止)       |

4) 本部事業

| 事業名称 (略称)        | 種別    | 実施日             |
|------------------|-------|-----------------|
| 配筋探査技術者認証試験      | 学科    | 12/2            |
|                  | 実技    | 2/16~2/17       |
| 配筋探査講習会          | 座学    | 10/29           |
| 配筋探査実技講習会        | 実技    | 7/28, 1/27~1/29 |
| インフラ調査士試験 (一次)   | 学科    | 11/8            |
| JASS 5 T-608 講習会 | 座学・実技 | 10/8~10/9       |

3.3 西日本支部

1) 支部事業

| 幹事会・大会・例会・講習会等 | 回数 | 実施日  |
|----------------|----|--|
| 幹事会            | 3  | 4/4(中止)、6/6(中止)、7/17、9/10<br>12/3(中止)、1/23(中止)、2/4 |
| 支部大会、秋季例会、新年例会 | 0  | 6/6(中止)、9/19(中止)、1/23(中止)                          |
| 技術交流会          | 0  | 11/8(中止)   |
| アンケートによる講習会    | 0  | 1/30(中止)   |

2) 本部事業

| 事業名称 (略称)   | 種別 | 実施日            |
|-------------|----|----------------|
| 配筋探査技術者認証試験 | 学科 | 5/27(中止)、12/2  |
|             | 実技 | 8/6、2/4        |
| インフラ調査士試験   | 学科 | 5/14(中止)、11/18 |
| 配筋探査講習会     | 座学 | 4/27(中止)、10/30 |
| 配筋探査実技講習会   | 実技 | 8/5、2/2~2/3    |
| 秋季合同例会      | 例会 | 9/16~9/17(中止)  |

3.4 機材支部

1) 支部事業

| 行事名  | 回数 | 実施日                               |
|------|----|-----------------------------------|
| 幹事会  | 4  | 7/2日、9/15、12/15、3/15、(7月を除きWEB会議) |
| 定期大会 | 0  | 6/8(中止)                           |

2) 委員会

| 委員会・分科会名 | 回数 | 実施日                           |
|----------|----|-------------------------------|
| 広報委員会*   | 0  | (中止)                          |
| 技術委員会*   | 3  | 4月(中止)、9/9、11/4、1/14(全てWEB会議) |

|        |   |  |
|--------|---|--|
| 教育委員会※ | 0 | 5月(中止)、9月(中止)、12月(中止)、令和3年2月(中止)           |
| 安全委員会※ | 1 | 10/14(WEB会議)                               |
| UT分科会  | 3 | 7/17(WEB会議)、11/25、2/12(JIMAとの機器市場統計調査会を含む) |
| RT分科会  | 0 | 6月(中止)、9月(中止)、12月(中止)                      |
| 計測分科会  | 3 | 4月(中止)、6月(中止)、9/24、11/27、2/8(全てWEB会議)      |
| TT分科会  | 0 | 5月(中止)、9月(中止)、12月(中止)                      |

※ 広報、技術、教育、安全の各委員会の委員長は、本部部会及び部会下部委員会へ出席。

### 3) 講習会、展示会、セミナー及び見学会

| 名 称  | 担当    | 実施日(場所)     |
|--|-------|-------------|
| NDT塾(第2回)  | 技術委員会 | 1/22(オンライン) |
| フェーズドアレイ超音波探傷器講習会(第17回)                          | UT分科会 | 8月(中止)      |
| 新入社員の為の非破壊検査基礎講習会(第8回)                           | 計測分科会 | 4月(中止)      |
| 放射線透過法による検査事例と適用機器セミナー(第4回/日本工業出版主催)の支援 ※JANDT後援 | RT分科会 | 7/8(オンライン)  |
| 関連施設・設備見学会(詳細未定)                                 | RT分科会 | 11月(中止)     |
| 他協会有識者を招聘しての合同分科会                                | TT分科会 | 令和3年3月(中止)  |

## 4. 対外活動

今年度は、日本経済再生に向けた国の経済対策に対応して、高齢化・老朽化した社会インフラの安全性の確保と長寿命化のための検査診断技術や、検査手法の開発・実用化並びにその活用と普及に関し、経済産業省や国土交通省並びに地方自治体等との連携協力を促進すると共に、非破壊検査業界の関連団体との緊密な連携を図り、非破壊検査の発展と普及に向けた活動を推進した。また、下記に示す外部委員会へ積極的に参画し、相互理解と連携協力の促進に努めた。

- (1) 日本非破壊検査協会 諮問委員会 外 2委員会
- (2) 日本溶接協会 溶接検査認定委員会
- (3) 国土交通省 河川技術評価委員会
- (4) 総務省消防庁 危険物施設の長期使用に係る調査検討委員会
- (5) 危険物保安技術協会 新技術を活用した危険物施設の保安設備等に関する研究会
- (6) 危険物保安技術協会 超音波探傷法による溶接線検査装置の実用化に向けた検討会
- (7) 全国危険物安全協会 地下タンク等定期点検実施制度運営委員会
- (8) 放射線障害防止中央協議会
- (9) 石油化学工業協会 定修会議

## 5. 会務報告

### 1) 第 25 期第 49 回定時総会

開催日時: 令和 2 年 7 月 20 日 (月) 15:00~16:15

開催場所: 東京都千代田区霞が関 3-2-5 霞が関ビル 35 階 東海大学校友会館「三保・霞の間」

成立状況: 正会員(議決権)総数: 198 名

出席正会員数: 171 名(内委任状 115 名) : 正会員総数の 2 分の 1 以上

#### (1) 議決事項

第 1 号議案 令和元年度事業報告書承認の件

第 2 号議案 令和元年度財務諸表等承認並びに監査報告の件

第 3 号議案 第 25 期(令和 2 年・令和 3 年度)の理事及び監事選任の件

#### (2) 報告事項

報告事項 1 令和 2 年度事業計画書の件

報告事項 2 令和 2 年度収支予算書の件

本定時総会において、第 1 号議案、第 2 号議案、第 3 号議案並びに報告事項 2 件は、いずれも賛成多数をもって承認された。

### 2) 理事会

理事会での主な審議結果を以下に示す。

| 期日・場所  | 議 案   | 審議結果                                   |
|--|---|--|
| 2-第 1 回理事会<br>令和 2 年 4 月 21 日<br>書面審議                    | 1. 会員異動(届出事項変更届 2 件)の件<br>2. 検規改正(1 件)の件<br>3. 令和元年度事業報告の件<br>4. 令和元年度計算書類及び監査報告書の件<br>5. 定時総会開催の件<br>6. 事務局体制の件<br>7. 部会・委員会委員の件 | 承認<br>承認<br>承認<br>承認<br>承認<br>承認<br>承認 |
| 臨時理事会<br>令和 2 年 5 月 12 日<br>書面審議                         | 1. 新型コロナウイルス感染症に関する対応の件<br>2. 令和 2 年度第 25 期第 49 回定時総会の開催に関する件   | 承認<br>承認                               |
| 臨時理事会<br>令和 2 年 7 月 20 日<br>東海大学校友会館                     | 1. 理事長(代表理事)の選任の件<br>2. 副理事長及び専務理事の選任の件<br>3. 会務担当理事の選任の件<br>4. 会員異動(届出事項変更届 9 件)の件   | 承認<br>承認<br>承認<br>承認                   |
| 2-第 2 回理事会<br>令和 2 年 8 月 20 日<br>本部事務所 5 階会議室<br>オンライン会議 | 1. 会員異動(届出事項変更届 3 件)の件<br>2. 委員変更(4 件)の件<br>3. 検規改正(1 件)の件<br>4. 政策要望懇談会の件<br>5. 事業活動報告の件   | 承認<br>承認<br>承認<br>了承<br>了承             |

| 期日・場所   | 議 案   | 審議結果   |
|---|---|--|
| 臨時理事会<br>令和2年10月13日<br>書面審議                     | 1. インフラ調査士登録更新の件  | 承認   |
| 2-第3回理事会<br>令和2年10月29日<br>本部事務所5階会議室<br>オンライン会議 | 1. 会員異動(届出事項変更届8件)の件<br>2. 委員変更(1件)の件<br>3. 検規改正(11件)の件<br>4. 上期事業報告の件<br>5. 上期支部活動報告の件<br>6. 上期会計報告の件<br>7. 中間監査報告の件   | 承認<br>承認<br>承認<br>了承<br>了承<br>了承<br>了承                               |
| 2-第4回理事会<br>令和3年1月13日<br>本部事務所5階会議室<br>オンライン会議  | 1. 会員異動(届出事項変更届3件)の件<br>2. 委員変更(1件)の件<br>3. 検規改正(3件)の件<br>4. 令和2年度事業活動報告の件<br>5. 令和3年度予算の件<br>6. 新型コロナウイルス感染症に関する対応の件   | 承認<br>承認<br>承認<br>了承<br>了承<br>了承                                     |
| 2-第5回理事会<br>令和3年3月25日<br>本部事務所5階会議室<br>オンライン会議  | 1. 会員異動(退会2件、届出事項変更8件)の件<br>2. 委員変更(2件)の件<br>3. 検規改正(4件)の件<br>4. 委嘱契約の件<br>5. 令和3年度事業計画の件<br>6. 令和3年度収支予算の件<br>7. 令和2年度表彰の件<br>8. 令和2年度事業報告の件<br>9. 令和2年度収支見通しの件<br>10. 令和2年度事業監査報告の件<br>11. 部会活動報告の件 | 承認<br>承認<br>承認<br>承認<br>承認<br>承認<br>承認<br>承認<br>了承<br>了承<br>了承<br>了承 |

## 6. 会員異動

### 1) 会員の増減

令和2年度(令和2年4月1日～令和3年3月31日)の会員の増減は、次のとおり。

|                |                   |         |
|----------------|-------------------|---------|
| ○正会員：          | 東日本支部             | 増減なし    |
|                | 関西支部              | 増減なし    |
|                | 西日本支部             | 増減なし    |
|                | 機材支部              | 2社退会    |
|                | 正会員数の増減           | 合計 2社減  |
|                | 正会員数(令和3年3月31日時点) | 合計 196社 |
| ○令和2年度正会員種別変更： |                   | 合計 6社   |
| ○支部協力員：        | 増減なし              | 合計 24社  |
| ○賛助会員：         | 1社入会              | 合計 5社   |

### 令和2年度の会員異動

| 会員             | 令和2年4月1日時点 |    |    |    |     | 令和3年3月31日時点 |    |    |    |     |
|----------------|------------|----|----|----|-----|-------------|----|----|----|-----|
|                | 東          | 関西 | 西  | 機材 | 計   | 東           | 関西 | 西  | 機材 | 計   |
| A種 $\geq$ 201人 | 6          | 1  | 5  | —  | 12  | 6           | 1  | 5  | —  | 12  |
| B種 $\leq$ 200人 | 3          | 2  | 3  | —  | 8   | 3           | 2  | 2  | —  | 7   |
| C種 $\leq$ 100人 | 5          | 6  | 9  | —  | 20  | 5           | 6  | 9  | —  | 20  |
| D種 $\leq$ 50人  | 23         | 15 | 8  | —  | 46  | 22          | 15 | 9  | —  | 46  |
| E種 $\leq$ 20人  | 27         | 8  | 10 | —  | 45  | 24          | 8  | 11 | —  | 43  |
| F種 $\leq$ 10人  | 12         | 10 | 8  | —  | 30  | 16          | 10 | 7  | —  | 33  |
| G種             | —          | —  | —  | 37 | 37  | —           | —  | —  | 35 | 35  |
| 正会員合計          | 76         | 42 | 43 | 37 | 198 | 76          | 42 | 43 | 35 | 196 |
| 支部協力員          | 8          | 12 | 2  | 2  | 24  | 8           | 12 | 2  | 2  | 24  |
| 合計             | 84         | 54 | 45 | 39 | 222 | 84          | 54 | 45 | 37 | 220 |
| 賛助会員           | —          | —  | —  | —  | 4   | —           | —  | —  | —  | 5   |

## 7. 附属明細書

令和2年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書として記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。